事業番号　0090

平成２４年行政事業レビューシート　（農林水産省）

事業名	多様な畜産酪農推進事業のうち 和牛精液等流通管理体制構築推進事業	担当部局庁	生産局	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	H19～H23	担当課室	畜産部畜産振興課畜産技術室	畜産技術室長 菊地　令
会計区分	一般会計	施策名	②国産農畜産物を軸とした食と農の結びつきの強化	
根拠法令（具体的な条項も記載）		関係する計画、通知等		
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	我が国の財産である和牛の遺伝資源の保護・活用を図るため、和牛精液等の生産情報と最終使用情報をストローに印刷したバーコードや封入したICタグにより照合するシステムを構築し、和牛精液ストロー等の流通管理の強化を図る。			
事業概要（5行程度以内。別添可）	和牛精液ストロー等の流通管理体制の強化を図るための ①全国システムの構築 【定額】 ・全国会議、推進会議の開催。 ・全国から報告される凍結精液ストローの生産・使用情報を集約するためのシステムの改修。 ②地域システムの構築 【定額】 ・地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の普及と全国システムとの連携。			
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算	122	128	49	－	－
	補正予算	―	△51	―	－	
	繰越し等	―	－	―	－	
	計	122	77	49	－	－
執行額		102	71	45		
執行率（%）		84%	92%	92%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（23年度）
和牛精液ストローの流通管理を徹底するためのシステム導入を行っている県	成果実績	実施県	3	5	10	23
	達成度	%	13%	22%	43%	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
和牛精液ストローの流通管理体制を構築した地区数	活動実績 （当初見込み）	実施県	2 （2）	4 （4）	9 （23）	－ （－）

単位当たりコスト	全国システム：19百万円/団体 地域システム：2．8百万円/県	算出根拠	全国システム単位当たりコスト：執行額（19百万円）/全国システム（1団体） （参考）平成22年度：19百万円/団体、平成21年度：90百万円/団体 地域システム単位当たりコスト：執行額（26百万円）/実施地区数（9県） （参考）平成22年度：12.8百万円、平成21年度：5.7百万円

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
－	－	－	
計	－	－	

事業所管部局による点検			
	評価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、23年度の公募の周知を十分に行ったが、全国システムについては、精液の流通管理という特殊性及び、事業の継続性から、結果的に1者応札となった。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	23年度の活動実績は、種雄牛造成県数を当初見込みとしていたが、県によってシステム導入の検討の進捗度合いが異なり、県内調整に時間を要し、事業参加に至らなかった県があったため、当初見込みを下回っている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	和牛の精液は、多様・複雑なルートで流通している。このため、和牛精液の流通管理を徹底することは、国内での和牛精液の適切な利用を図るうえで、優先度の高い事業と考えている。 支出先の選定は、23年度の公募の周知を十分に行ったが、全国システムについては、全国域での精液の生産・使用情報を管理するという特殊性もあり、結果的に1者応札となった。 単位あたりコストについては、22年度の地域システムが高くなっているが、これは22年度に新たな地域が取組みを始めるにあたり、ICチップ読み取り機やデータ集計するためのソフト開発等の拡充を適切に行っているものである。 費目・使途については、事業実績報告書を要領等に基づき適正に執行されているかを確認している。 活動実績については、種雄牛造成県数を当初見込みとしていたが、県によってシステム導入の検討の進捗度合いが異なり、県内調整に時間を要し、事業参加に至らなかった県があったため、当初見込みを下回っている。 本事業で整備されたモデルシステムは、本事業を活用し新たなシステムの導入を検討している県等へ情報提供され、システム導入の検討素材とされており、モデルとして役割を果たしている。		

予算監視・効率化チームの所見	
－	本事業は、23年度で終了した事業であるが、公募している資金の流れのAについて、1者応札となっており、昨年度に引き続き2年連続して1者応札となっている。また、活動実績において、和牛精液ストローの流通管理体制を構築した地区数が当初の目標を下回っている。以上のことから、「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「活動が活性化するような支援方策の見直し」を行うべきだった。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）	
現状通り（24年度限りで終了）	平成23年度をもって事業終了

補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0136	平成23年行政事業レビュー	0109

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	※平成23年度実績を記入 農林水産省 45百万円 【公募・補助】1団体/1団体 A.（社）家畜改良事業団 19百万円 全国から報告される凍結精液ストローの生産・使用情報を集約す全国システムを構築するための、 ・全国推進会議の開催 ・全国システム互換性等調査の実施 ・全国システム検討会の開催 【公募・補助】4団体/4団体 B.（学）京都大学　等 26百万円 地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の普及と全国システムと連携するための、 ・地域システムの協議会の開催 ・地域システムの運用、改修

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.（社）家畜改良事業団

費 目	使 途	金 額（百万円）
役務費	システム改修費	5
人件費	システム運用費	14
その他	会議開催経費、旅費	1
計		19

B.（学）京都大学 等

費 目	使 途	金 額（百万円）
役務費	ソフト運用	13
備品費	ハンディリーダ	1
旅費	精液管理実証（モデル9地区担当者分）	3
人件費	事業事務	2
その他	消耗品費、会議開催経費等	4
計		23

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.(社)家畜改良事業団

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	家畜改良事業団	全国から報告される凍結精液ストローの生産・使用情報を集約す全国システムを構築するための、 ・全国推進会議の開催 ・全国システム互換性等調査の実施 ・全国システム検討会の開催 ・全国システムの運用・管理	19	1	―

B.(学)京都大学 等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都大学	地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の普及と全国システムと連携するための、 ・地域システムの協議会の開催 ・地域システムの運用、改修 ・事業効果の普及啓蒙	23	4	―
2	阿新農業協同組合	地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の整備と全国システムとの連携	0.8		
3	勝英農業協同組合	地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の整備と全国システムとの連携	1		
4	津山農業協同組合	地域段階のモデル的な和牛精液ストローの流通管理体制の整備と全国システムとの連携	0.8		